

応援します！ # パートナースhip構築宣言

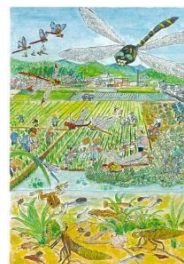
「社会に役立つ確かな価値を」、ユニフォームのトンボ

■社会に貢献できてこそ存在価値がある

トンボは創業から 54 年後の 1930 年、祖業の足袋から世の中の服装の変化に合わせて、学生服作りに大きく舵を切っている。

同社のミュージアム八正館では、時代の変遷に合わせた製品の変化を学ぶことができるが、そこに生きづく、「企業は営利目的だけではなく、社会に貢献できてこそ存在価値がある」という精神に触れることもできる。

“トンボと自然を守ろう”というテーマで実施している『「WE LOVE トンボ」絵画コンクール』や「生徒の皆さんに斬新な想像力を発揮していただく機会を」という趣旨で開催している『トンボ 1 1 2 9 デザインコンクール』、地域の特産品などをデザインに取り入れた制服の提案など、コーポレートスローガンである「人と自然を大切にした価値ある製品づくりを」という企業姿勢が垣間見られる。



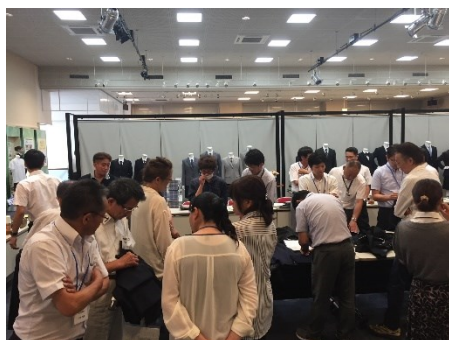
■デジタル技術を活用した自動化システムで繋がる



現在、同社の扱う製品は 780 万点、学生服関係のラインナップだけでも 430 万点に上る。学生服は毎年 2 月～3 月に注文が殺到し繁忙期となるが、学生たちに確実に制服を届けるため、協力工場や販売店とは密に連携を図っている。

製造にあたっては、デジタル技術を活用した自動化システムを導入しており、過去の受注数から受注予測を立て、計画的に製造を行っている。

日本各地に多くある協力工場と力を合わせて、ものづくりを行っている。製造にあたっては各工場と協議し、工場のキャパシティを考慮した調整や、繁忙期には代金を上乗せするなどの配慮を行っている。また、自社工場と同品質の学生服を提供するため、定期的に協力工場の方々とミーティング(合同品質検討会議)を実施している。そこで、仕様検品及び縫製技術のチェック、品質向上などの取組も行っており、2024 年 5 月 1 日にパートナーシップ構築宣言を公表した。



■スポーツを通じた健全な心と体の育成

学生服だけでなく、スポーツウエアも取り扱うトンボ。「スポーツを通して心の教育」をテーマに、自社ブランド「VICTORY」にちなんで「VICTORY スポーツ教室」という、「憧れのアスリート」が全国の中学校・高等学校に直接赴き、一流選手の考え方や練習への意識の持ち方を伝える講演と実技指導を無料で行う取組も行っている。

「VICTORY」は、同社がチームスポンサーを務めるバレーボールチーム「岡山シーガルズ」のユニフォームにも採用され、選手のパフォーマンス向上だけでなく、地域全体で盛り上げているスポーツ振興の一翼も担っている。



■ヘルスケアウエア事業への展開

「介護する人・される人に優しく」をテーマに人間工学をデザインに取り入れた「K I R A K U」ブランドのヘルスケアウエアも展開している。

寝たきりの人の着心地がよいだけでなく、排泄処理等をする家族やヘルパーの負担軽減も行えるウエアの開発を目指して、病院やリネン会社と共同で、着心地や運用のしやすさのブラッシュアップを行っている。

入浴介助用のウエアでは、従来の防水ウエアは肌にあたるとヒヤッとする不快感があったが、ニット生地に撥水加工を施し、「ヒヤッと感」をなくした製品開発に成功した。

同社は、協力企業・販売店とのパートナーシップはもちろん、学生やスポーツ、介護の分野で実際に着用する人ともパートナーシップを築き、「社会に役立つ確かな価値を」提供できる製品づくりを着実に進めている。

【会社概要】

会社名：株式会社トンボ

所在地：岡山県岡山市北区厚生町2丁目2番9号

パートナーシップ構築宣言日：2024年12月1日

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/80440-05-03-okayama.pdf>

■担当者の一押しポイント

学生服は、合格発表から入学式までに納品しないといけないタイトなスケジュールのなか、協力工場や販売店と密に連携を取りながら、生産予測を立て、準備しているということに驚いた。トンボブランドの原点は「生徒の成長を見守る」こと。パートナーシップを築きながら、「社会に役立つ確かな価値」を提供している。

